



自在に間仕切りが可能な2階の多目的室(右)と和室(左)は交流機能の中核として市民にも活発に利用されている

### 震災・津波の記憶を次世代に継承し まちの魅力を発信する交流施設

「キャッセン大船渡」エリアの北端に位置する大船渡市防災観光交流センターは、大船渡における津波や地震の災害を伝える復興のシンボルとして計画された。津波の記憶を次世代に伝える“防災機能”、まちの魅力を発信する“観光機能”、地域住民が気軽に立ち寄れる“交流機能”を備えた、多機能施設。1階には大船渡市観光物産協会が居を構え、2階は津波などの自然災害から身を守るための学習の場と交流のスペース。ここでは、多くの市民が集い交流を図れるように、可動壁による自由な間仕切りが可能な多目的室

や自習室、スタジオまでが設けられている。3階は展望デッキと屋上広場が設けられ、備蓄倉庫には非常電源設備を装備。地下の貯水施設と合わせ、災害時の一時避難施設として500人が収容可能な機能を備える。「2階は、ヨガ教室やお母さんたちのお茶会や子どもの誕生会にも使われている。多目的スペースを自在に使いこなす利用法は学ぶことも多い」と話すのは、運営を委託されている大船渡市観光物産協会の観光振興支援員 佐々木 翔氏。「気軽に訪れて、一日中くつろげる施設をめざしたい。津波の際は、ここだけで満足せず、なるだけ高台に避難するように声を続けたい」と語る。

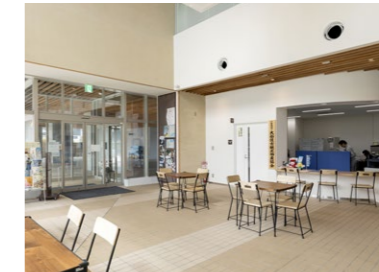
## 大船渡市防災観光交流センター

OFUNATO DISASTER PREVENTION  
TOURISM ALTERNATING CURRENT CENTER



### 大船渡市防災観光交流センター

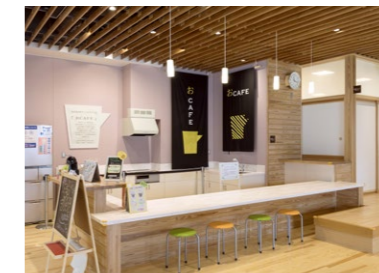
所在地／岩手県大船渡市大船渡町  
主 大船渡市  
管 一般財団法人大船渡市観光物産協会  
計 株式会社NTTファミリーーズ  
理 株式会社日東設計事務所  
工 東急建設・明和土木特定建設工事共同企業体  
竣 2018年4月



大船渡市観光物産協会事務所(1階)



さまざまな作品が展示できる展示室(2階)



給湯スペース(準備中)



学生が自由に利用できる自習室



防音設備が整ったミュージックスタジオ



椿のモニュメント(中央)と背後の備蓄倉庫

### 大船渡駅周辺地区整備計画



### 主な設備

- LED街路灯
- LEDダウンライト
- LEDカラー演出照明
- ガーデンライト
- LEDスポットライト
- LED建築化照明
- LEDベースライト iDシリーズ